

視聴覚教育

NO.279

発行日

14.1.7

発行

岡崎市AVL

編集

現職教育委員会

学習情報部

視聴覚用語

「無線LAN」
電気信号をケーブルレスで伝送するネットワークシステムの総称である。LANケーブル敷設が難しい場所でもLAN構築をしたい、校内を移動しながらLANアクセスをしたい場合に便利である。

「視聴覚教育あれこれ」

藤川小学校研究発表会 報告

十月三十日(火)、岡崎市立藤川小学校で、「自ら問いを追究する子の育成 パソコンを中心としたメディアの活用を通して」を主題として研究発表会が開催された。岡崎市内外からおよそ四百二十名の参観者が集まる中、公開授業と研究発表が行われた。

公開授業では、各教科の学習や総合的な学習の時間に、子供たちが自ら抱いた疑問や問題を解決するために、情報やメディアをごく自然に活用する姿が見られた。研究発表では、子供たちの体験活動・調べ活動・話し合い活動にパソコンを中心としたメディアの活用を位置付けて学習を展開することによって、「自ら問いを追究する子」の育成を目指してきた実践が報告され、情報通信社会に対応するこれからの学校教育の一つのあり方が示された。

また、名古屋大学大学院教授・大谷尚先生から「情報化社会に対応した開かれた教育と学校のあり方」と題して講演があり、これからの情報教育を考える上でも有意義な研究発表会となった。

愛知県学校視聴覚教育研究大会

参加報告

山中小学校 本間 茂夫

去る十月十九日に、愛知県学校視聴覚教育研究大会が「二十一世紀にはばたく主体的・創造的な児童生徒の育成をめざしてー視聴覚メディアの有効利用を考えてー」を大会主題として江南市民文化会館で行われた。

実践事例発表では、大口町立大口北小学校が二年間にわたる総合的な学習の時間の授業にどう情報教育の視点を生かすかという実践を発表した。それぞれのメディアの特性を生かして、子供たちが目的のために活動していることがよく分かる実践であった。メディアを生かしたホームページ



ジによる学習成果の発表、ポトフォリオの研究についても、岡崎市でもまだ研究は緒にいたばかりで大変参考になった。

その後、「総合的な学習における情報教育の進め方」と題して、大阪教育大学教育学部の田中博之助教授の記念講演があった。その中で、総合学習における情報活動を類型化して、ディベート、プレゼンテーション、ポスターセッション、意見・情報交換、共同作業(コラボレーション)、作品発表等を進めていくこと、教師はどこでどのような情報活動ができるのか分析する必要があるのであることを力説された。そのためには、情報環境の整備(デジタルカメラ、インターネット、ビデオ、テレビ会議など)を進め、それらを複合的に組み合わせたメディアミックス)実践を進める必要性を感じた。最後に、これらことは「すべては、未来に生きる子供たちのために」とまとめられたことが印象的であった。

実践報告「シンガーソングライターを 利用した合奏指導」

岡崎市立美合小学校 野沢 和代

学芸会演目「合奏 六年生」これは、4月当初に決定していた。夏休み。曲目、楽器、パート人数を決め、指導計画へ。課題は、楽譜が読めない子、曲を聴いてもパートの楽器が聴き取れない子などをいかに指導するかであった。何かいい指導方法はないかと、悩んでいると、「打ち込みますか。」と主任の言葉。シンガーソングライターの登場である。この作曲ソフトは、マウスで音符を楽譜に貼り付けたら、その楽譜通りに演奏してくれるすぐれもの。けれど、楽譜を打ち込むのがとても大変！やらねばと、各パートごとに楽譜を打ち込み（ほとんど主任がやってくれたけど）、指導計画も立て、練習に入った。

そしてびっくり。楽譜の読めない子が「ラーラじゃなくて、ラーラじゃない。」とスピーカーから聞こえてくる音を頼りに、ああだるう、こうだろうと、



真剣に取り組んでいる。上達のスピードも速い。パートにわかれての練習はとも効率がよく進んだ。準備に苦労はしたけれど、その分の成果は十分に返ってくる有意義なものとなった。

「レッツ・トライ」 パソコンで交通安全の勉強

「道路への飛び出しは、やめよう。」
「車は、急に止まらないよ。」

などと、学年下校のとき毎日のように、交通安全について話をしている。しかし、大きな怪我には至らなかったが子供たちの交通事故はおきている。

学年に応じた交通安全の学習は、大切である。愛知県文化振興会発行の「みんなの安全」に加え、昨年度の情報主任の先生方が作られたソフト「守ろう！交通安全」は、子供たちが喜ぶパソコンで学習ができる。

このソフトは、パソコンの画面で楽しく道路標識を覚えたり、授業ではなかなか見ることができない夜間や雨天時の車の制動距離について調べたりすることによって、交通安全についての興味を高め、自分の身を守ろうとする意識を高める目的で作られている。

そして、写真やビデオ映像が取り入れられていりため、より具体的な状況を考えられるように工夫されている。テストコースにおける車の制動実験の様子を見た時には、「あっ、すっごい。」と、驚きの声をあげた。

更に、子供たち一人一人がクイズを解きながら楽しく学習を進められるようになっている。「この自動車の合図は？」のクイズと、標識クイズは、歓声を上げて取り組んでいた。本ソフトは、昨年度末に各学校に配布されている。

（情報主任 井田小 寛 美鈴）

ライブライリーだよ

寄贈ビデオの紹介

番号	題名
559	サイエンス指令 熱をさぐれ！
560	みんなでみんなのまちづくり
567	干潟
572	考えよう 命の大切さ
575	日本の山村
576	天然ガス自動車でいこう
580	気象を科学する
581	あなたも木を使ってみませんか

教育ネットワークを利用したライブライリーの資料検索について（小中学校の先生方に）

岡崎市教育ネットワークでは、視聴覚ライブラリーの映像資料を検索することができます。教育ネットワークのトップページを開くとメニューがあります。「教育・研究情報」から一覧表示や絞り込み検索、キーワード検索ができます。学校のパソコンから手軽に検索することができます。十六ミリフィルムやビデオの貸し出し、ダビングサービス等に活用してください。